

商業簿記

【第22回】

テーマ18 本支店会計①

1.簿記の総合問題について～構造論点について

【構造論点 1】

前T/Bスタートの決算整理型問題（P216）

【構造論点 2】 本支店会計（P264）

【構造論点 3】 連結会計（P286）

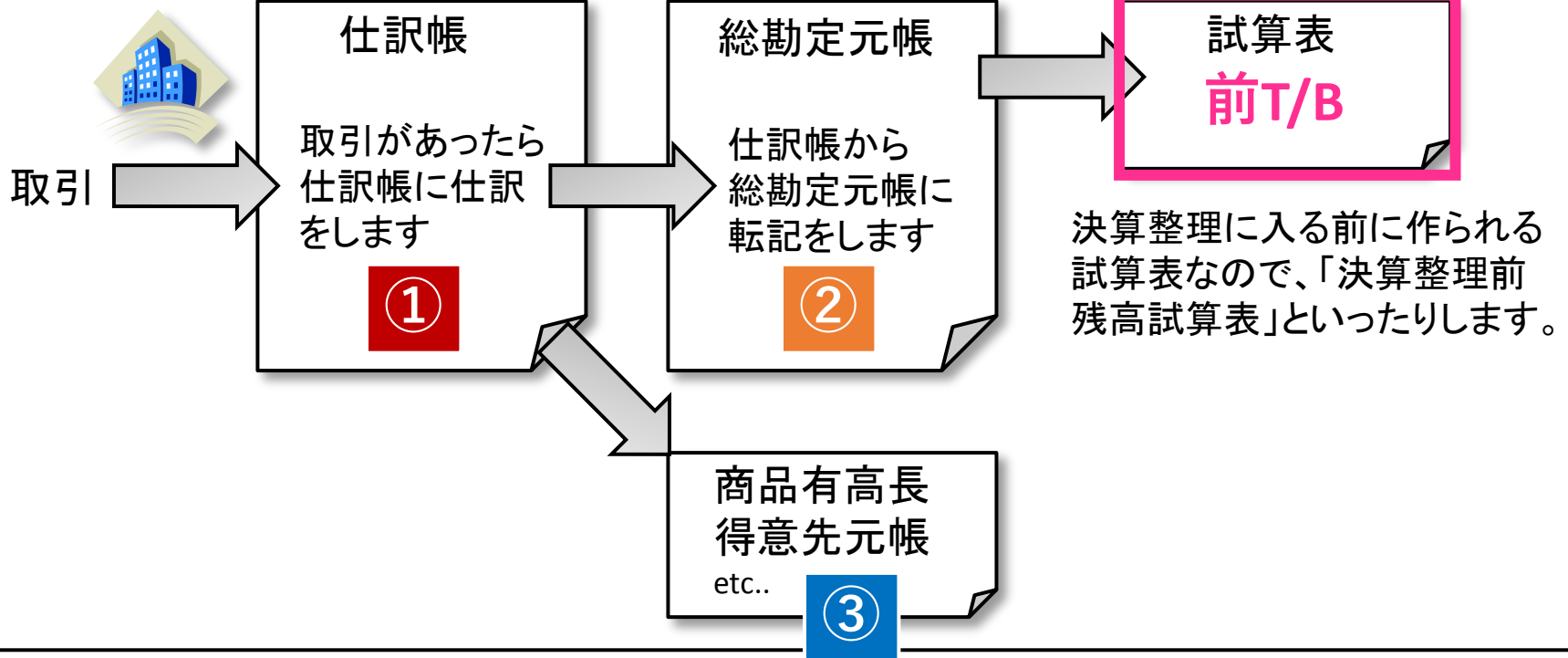


【構造論点1】

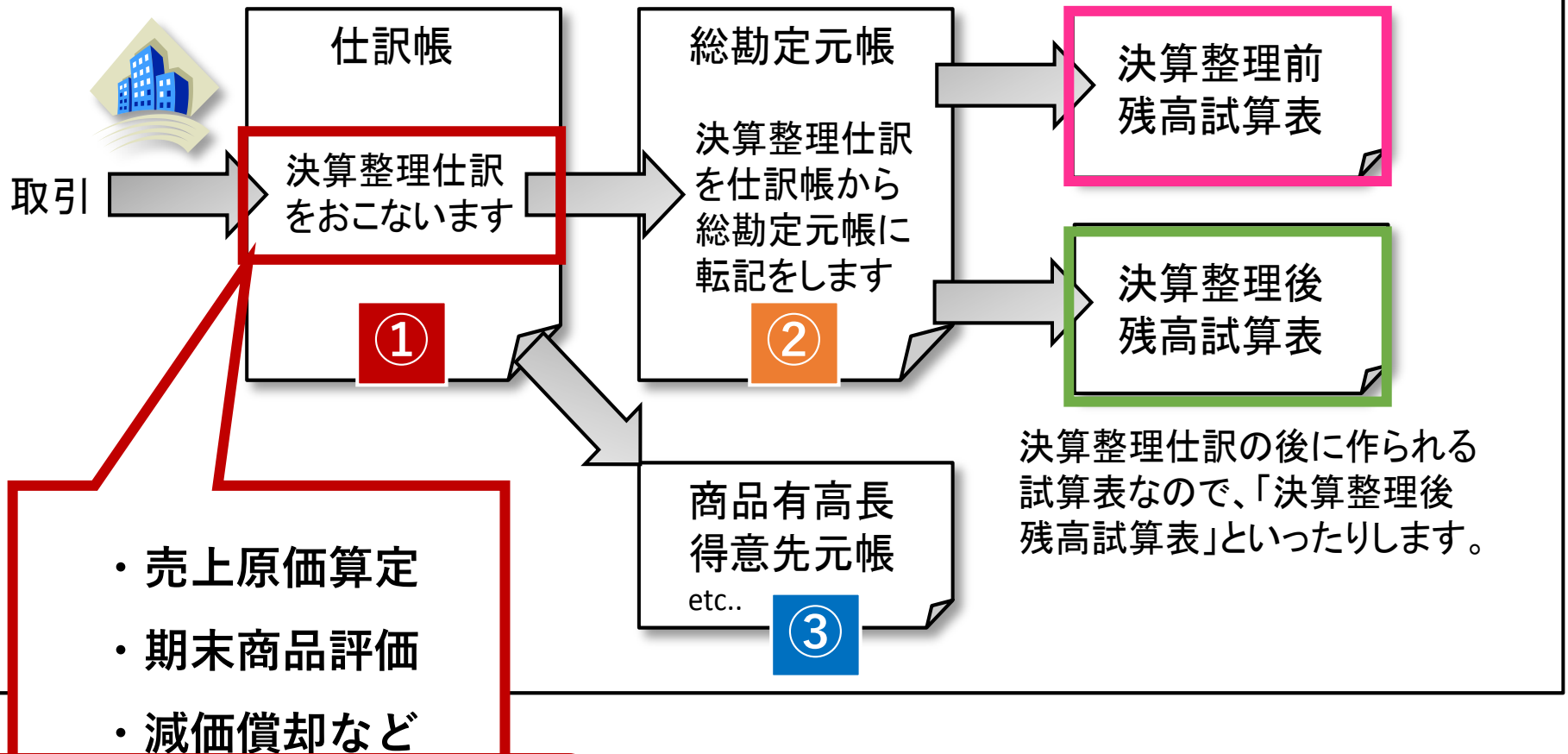
前T/Bスタートの決算整理型問題とななにか？

簿記一巡の流れの復習

試算表作成までの流れ



決算整理後残高試算表作成までの流れ

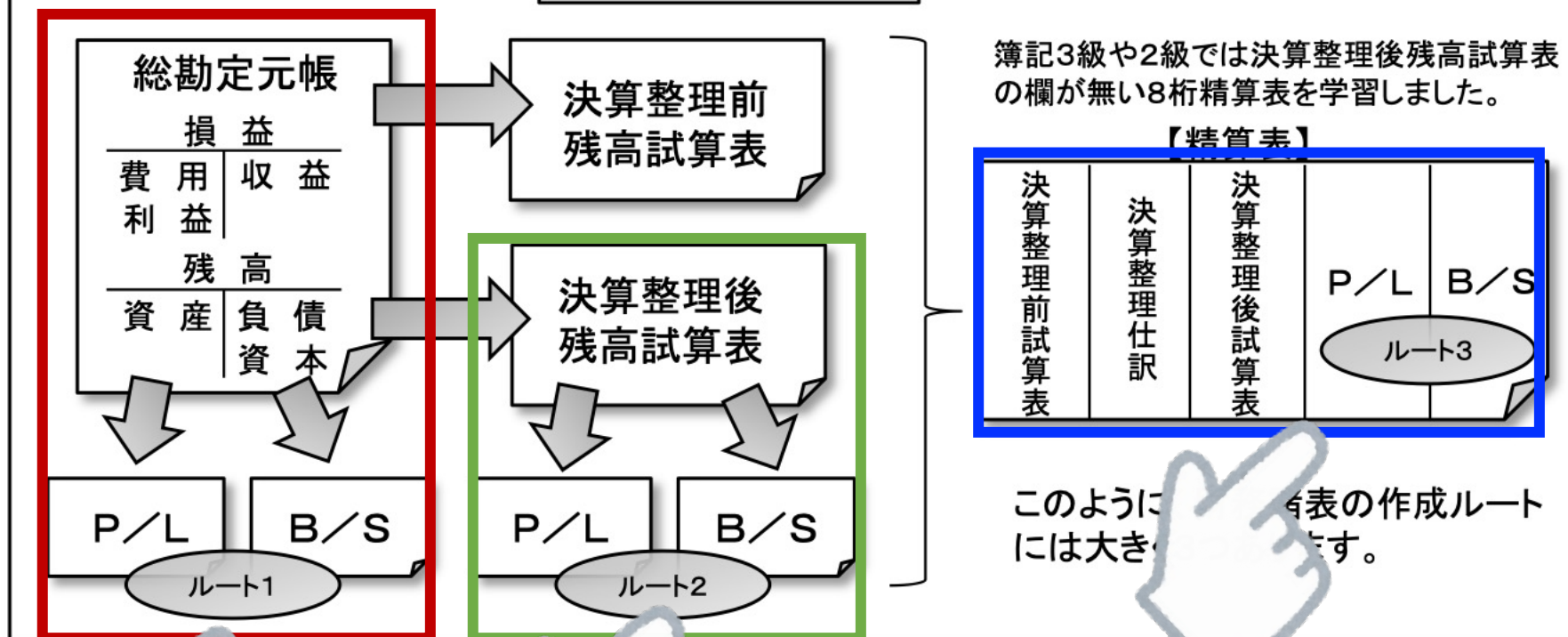


- ・ 売上原価算定
- ・ 期末商品評価
- ・ 減価償却など

基本的に問題問われるのは
この部分！

ちなみに・・・財務諸表作成ルートは3つあります。

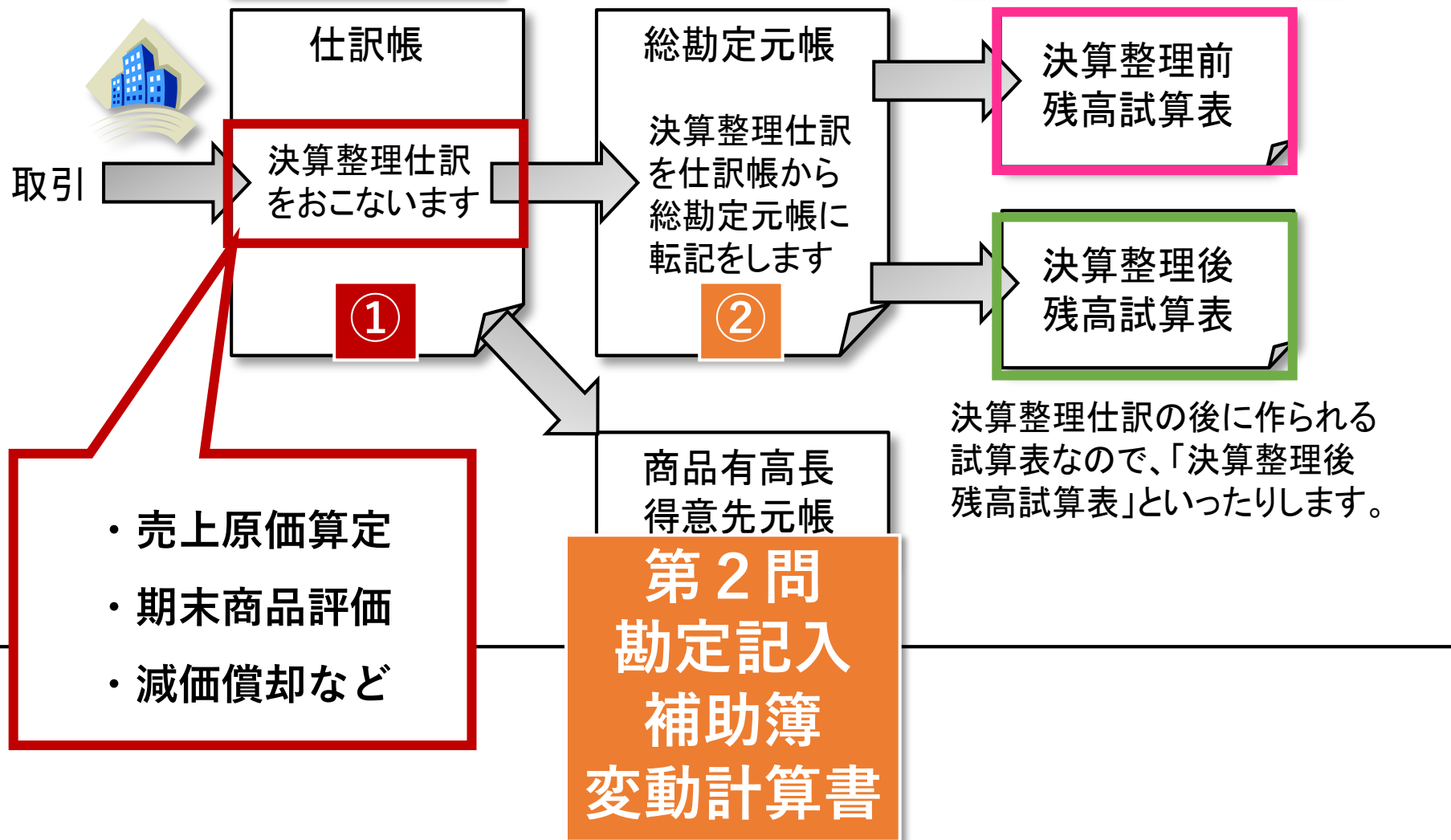
財務諸表作成の流れ



第1問 仕訳問題

取引後残高試算表作成までの流れ

第3問 決算整理問題



テーマ18 本支店会計

1. 本支店会計とは？（P264）



本店（熊本本店）



支店（福岡支店）



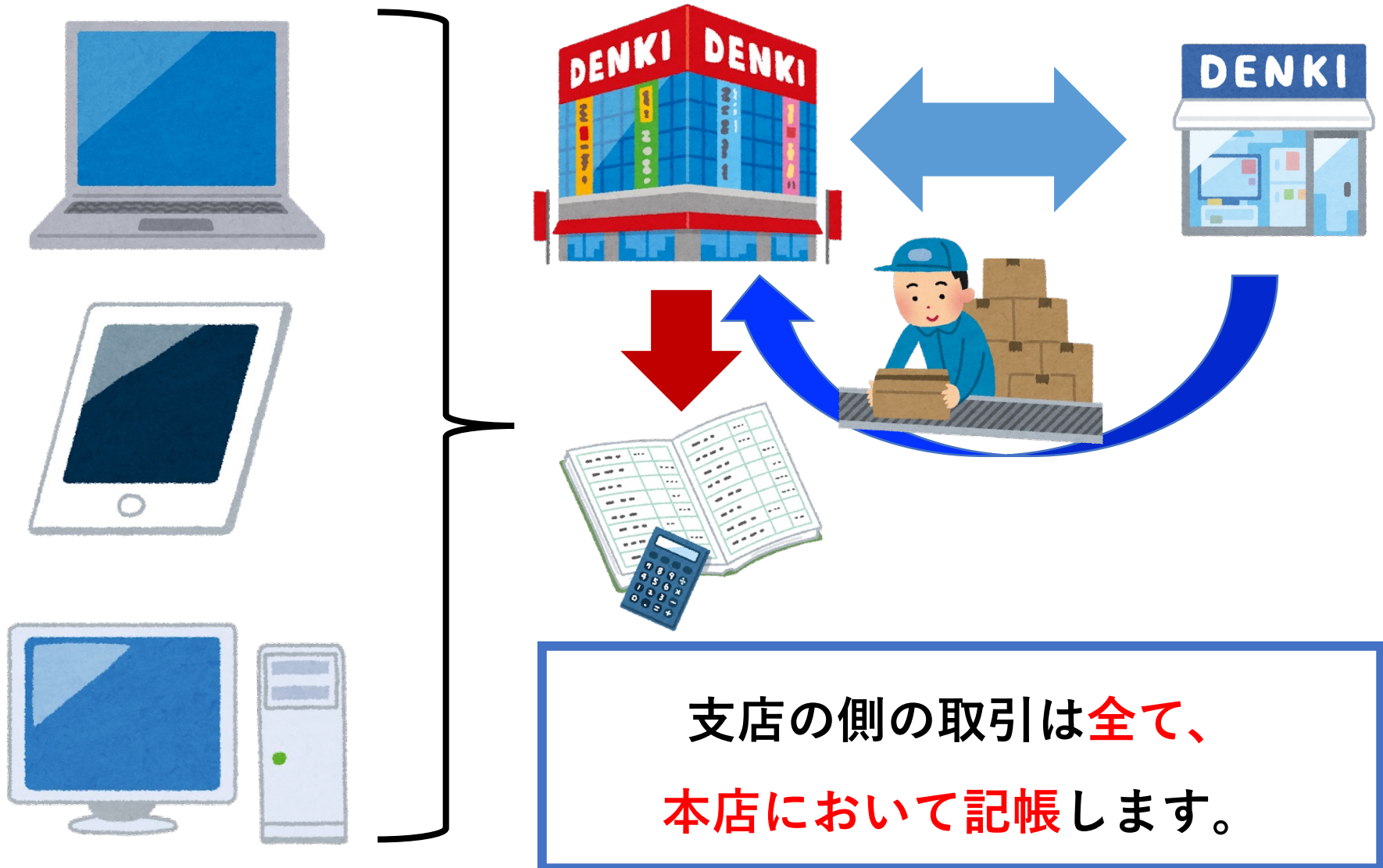
あなたがオーナーだとしたら、各店舗の
会計帳簿はどのようにつけさせますか？

【会計帳簿のつけ方】

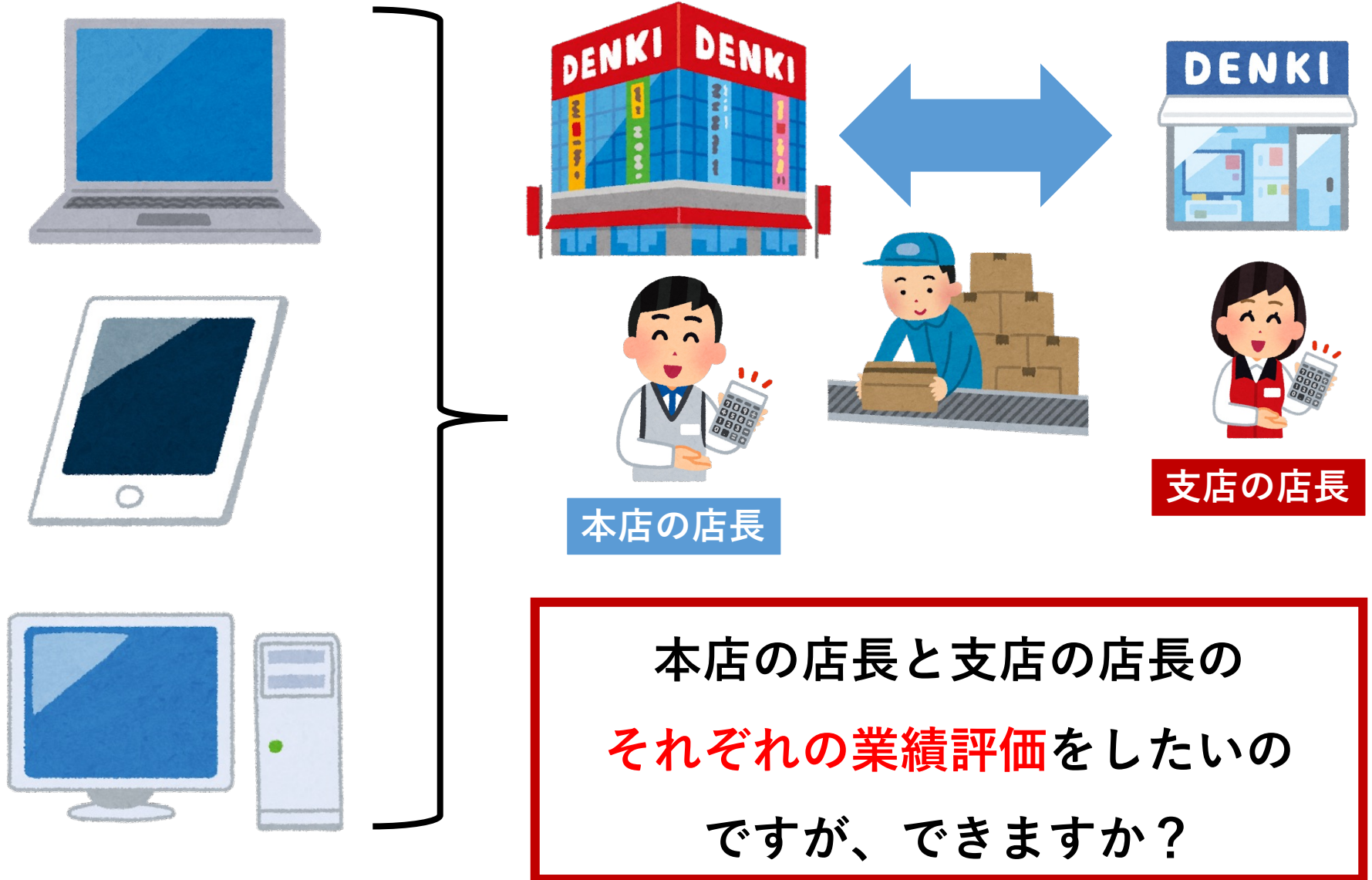
第1：本店がまとめて支店の分の会計処理をする

第2：本店と支店がそれぞれ自分の会計処理をする

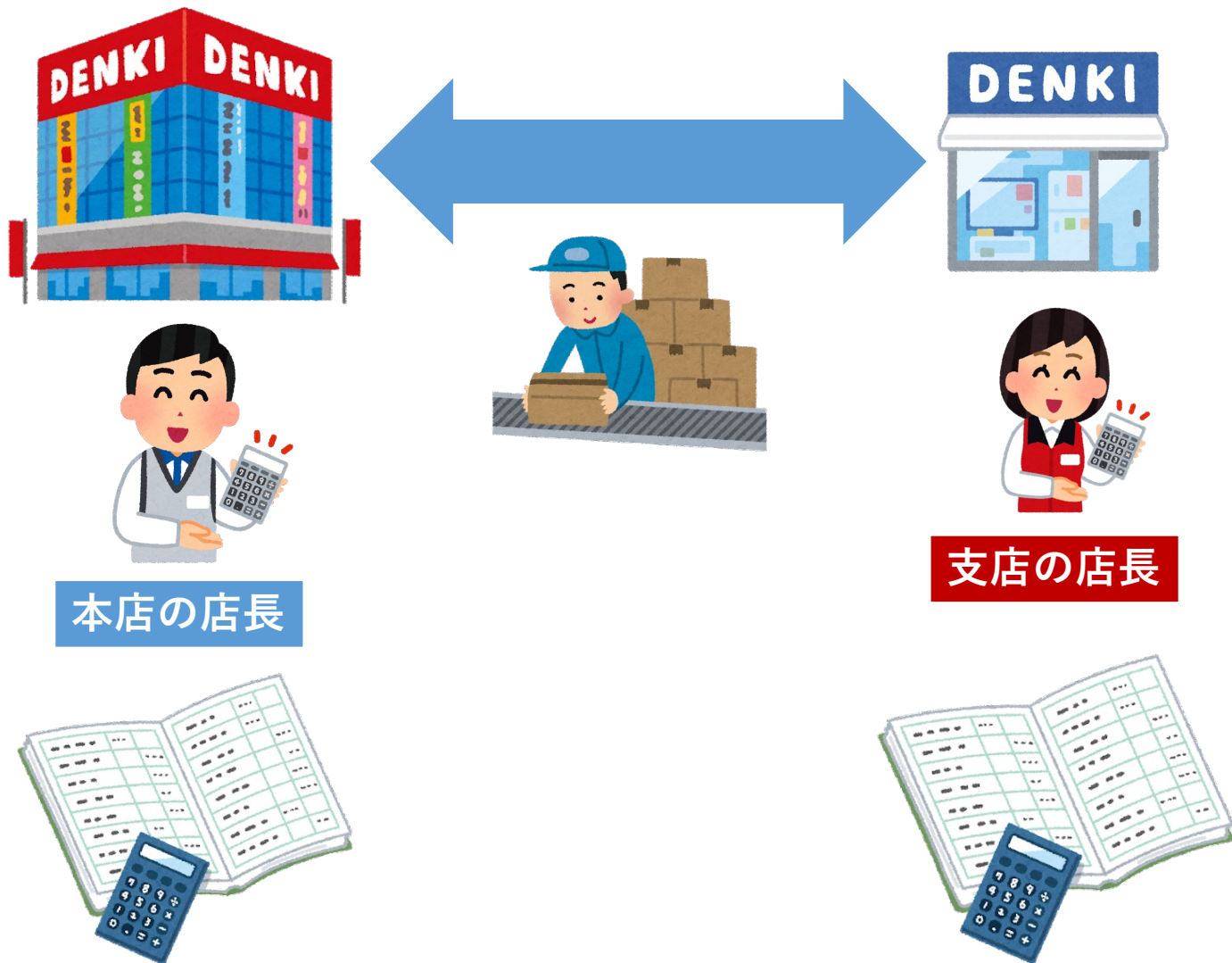
本店集中会計制度（P264）だとどうなるのか？



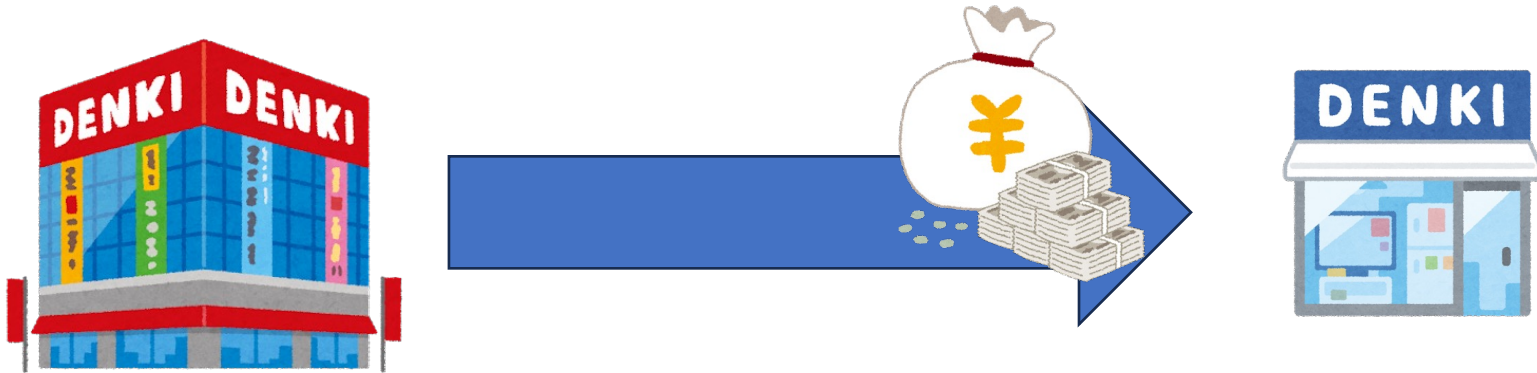
本支店の会計について、皆さまへご質問です。



そのために「本支店会計」 （支店独立会計制度） が必要となるのです！（P264）



本支と支店とのお金や商品のやり取り はどう処理すべきか？



①本店が資金を出して、支店を開設した場合の処理はどうするのか？

仕訳帳	本店側の仕訳	支店側の仕訳

本支と支店とのお金や商品のやり取り はどう処理すべきか？



②本店が商品を支店に送った場合の処理はどうするのか？

仕訳帳	本店側の仕訳	支店側の仕訳

(1)本支と支店とのお金を送金した場合 はどう処理すべきか？ (P265)



仕訳帳	本店側の仕訳	支店側の仕訳

総勘定 元帳	支 店		本 店	

(2)支店が本店の営業費200円を立て替え払いした 時はどう処理すべきか？（P265）



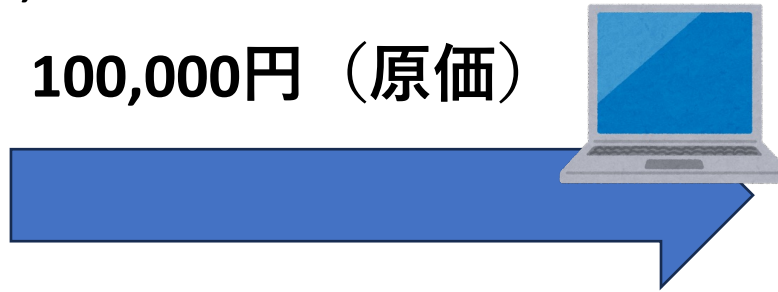
仕訳帳	1つの仕訳で考えてみる	
仕訳帳	本店側の仕訳	支店側の仕訳

本支が支店に商品を送った場合 はどう処理すべきか？（P267）

仕入100,000 現金100,000



100,000円（原価）



照合勘定を使う



仕訳帳	本店側の仕訳	支店側の仕訳

総勘定 元帳	支 店(本店側)		本 店(支店側)	

支店が複数あって、その支店同士でお金を送金した場合 はどう処理すべきか？（P268）



1. 支店分散計算制度の場合の処理

仕訳帳	熊本本店の仕訳	大宮支店の仕訳	横浜支店の仕訳

2. 本店集中計算制度の場合の処理

仕訳帳	熊本本店の仕訳	大宮支店の仕訳	横浜支店の仕訳

本支店会計（本店支店間・支店同士）の仕訳の考え方

(2)支店が本店の営業費200円を立て替え払いした時はどう処理すべきか？（P265）

1つの会社



200円立替え



相手勘定を照合勘定

相手勘定を照合勘定

仕訳帳	本店側の仕		支店側の仕訳	
	営業費200	支店200	本店200	現金200

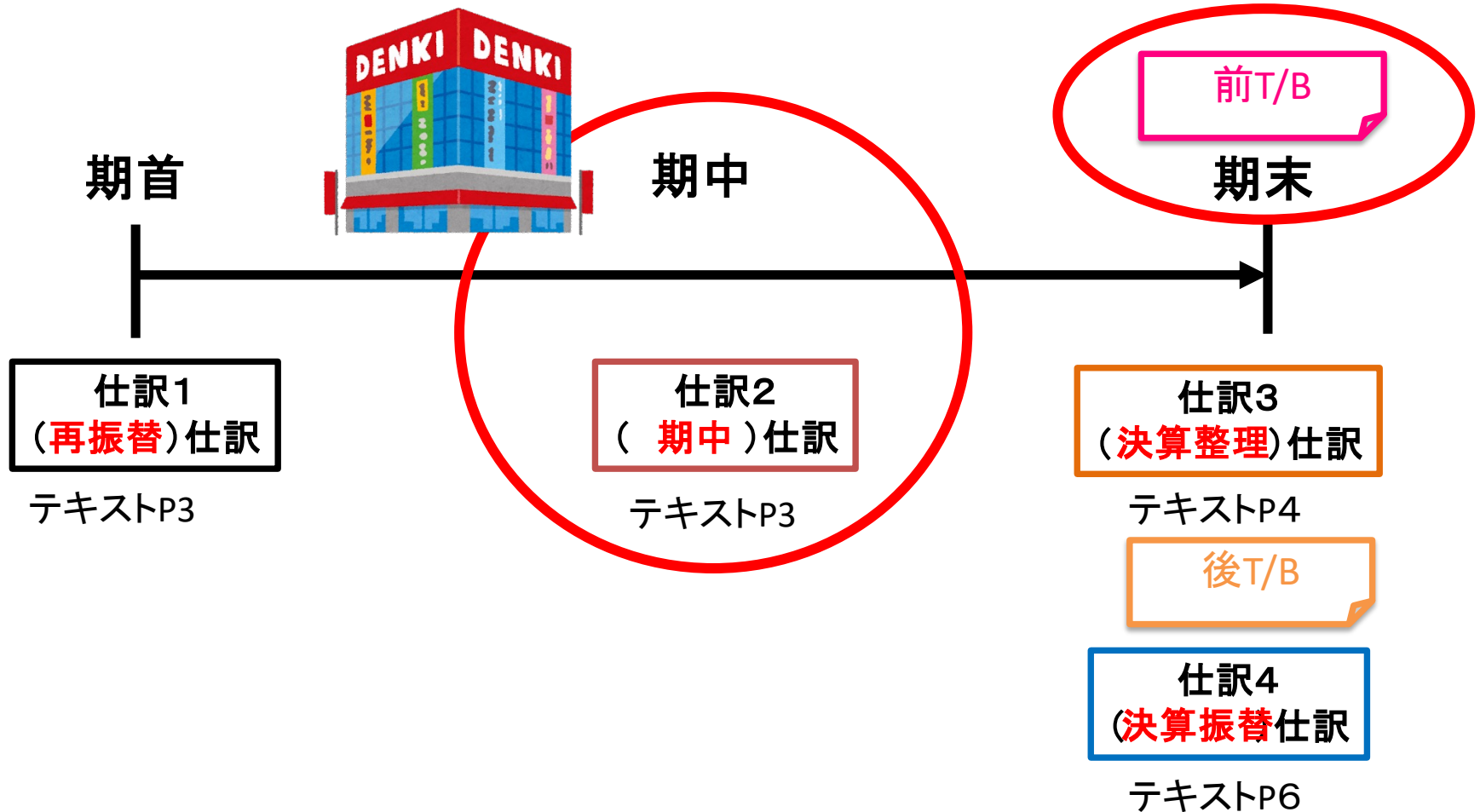
本店の営業費200円

支店が200円立替払いした

1.本支店会計の流れを確認する（P269～271）

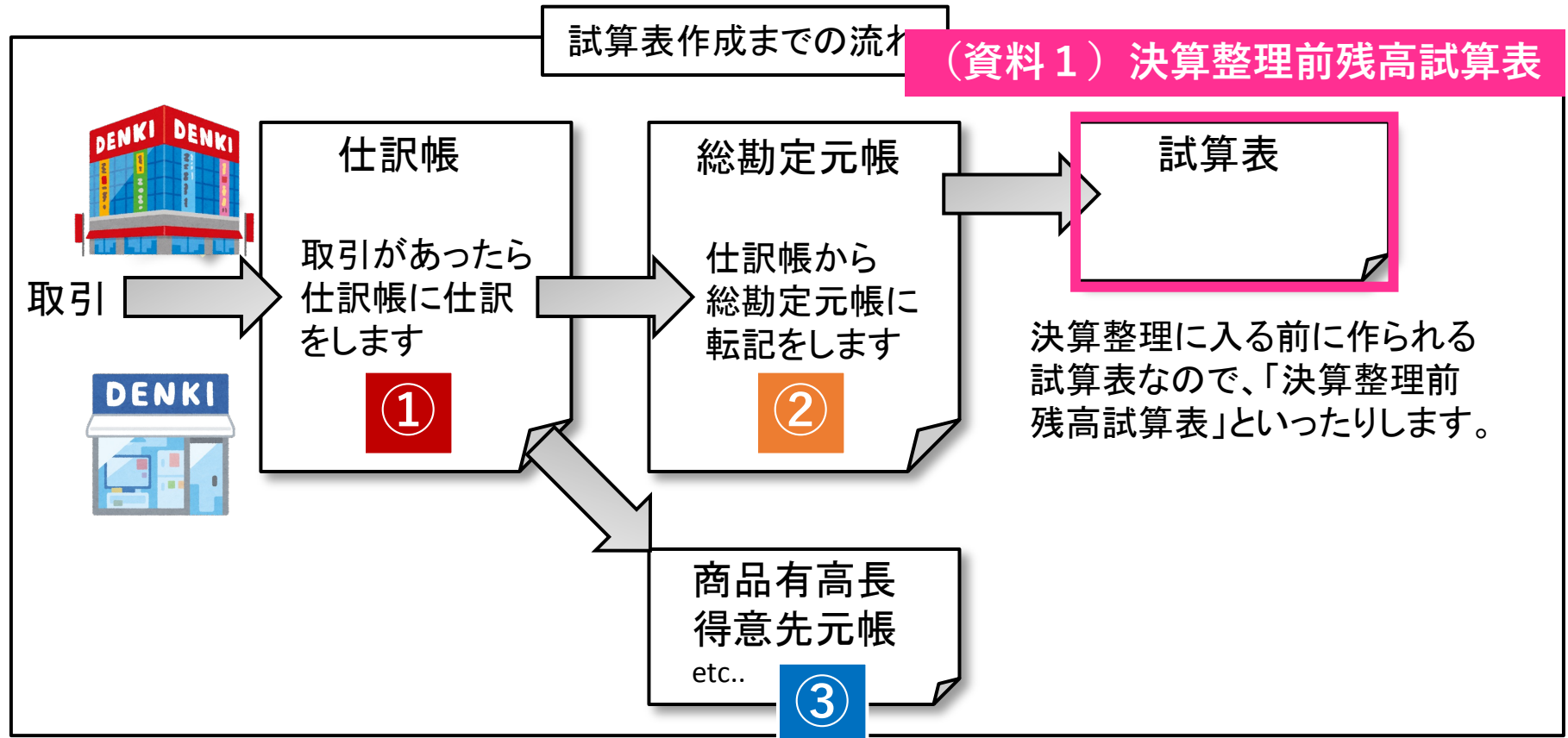
(1) 本支店ともに**決算整理前**残高試算表まで作成する（P270）設例18-1を題材

（資料 1） 決算整理前残高試算表



1.本支店会計の流れを確認する（P269～271）

(1) 本支店ともに**決算整理前**残高試算表まで作成する（P270）設例18-1を題材



会計帳簿の記入の流れ

① 本店と支店の期中取引の仕訳 (P270)

論 点 1	本店と支店のそれぞれの期中取引 (P270) ～一部の取引のみ示す			
仕訳例の金額 (設例18-1)	(1) 本店は、横浜に支店を開設し、現金116,000円を送金した。 (2) 本店は取引先から商品500,000円を仕入れ、全て掛けとした。 (3) 本店は、商品を720,000円で売上げ、全て掛けとした。 (4) 本店は営業費160,000円を現金で支払った。		(1) 支店は、本店から開設にあたり、現金116,000円の送金を受けた。 (2) 支店は取引先から商品550,000円を仕入れ、全て掛けとした。 (3) 支店は、商品を660,000円で売上げ、全て掛けとした。 (4) 支店は営業費100,000円を現金で支払った。	
	本店の仕訳		支店の仕訳	
	借 方	貸 方	借 方	貸 方
(1) 本支店間の送金取引				
(2)それぞれの仕入れ取引 (三分法)				
(3)それぞれの売上げ取引				
(4)それぞれの営業費の支払い				

② 期中取引の仕訳の金額を集計する（総勘定元帳）～一部のみ



支 店	仕 入
営業費	売 上



本 店	仕 入
営業費	売 上

③ 総勘定元帳の残高から決算整理「前」試算表を作成する



決算整理前残高試算表（一部記入済み）

× 年 3月31日

借方	金額	貸方	金額
現金預金	180,000	買掛金	176,000
売掛金	128,000	貸倒引当金	4,000
繰越商品	80,000	資本金	200,000
支店		繰越利益剰余金	64,000
仕入		売 上	
営業費			
	1,164,000		1,164,000

決算整理前残高試算表（一部記入済み）

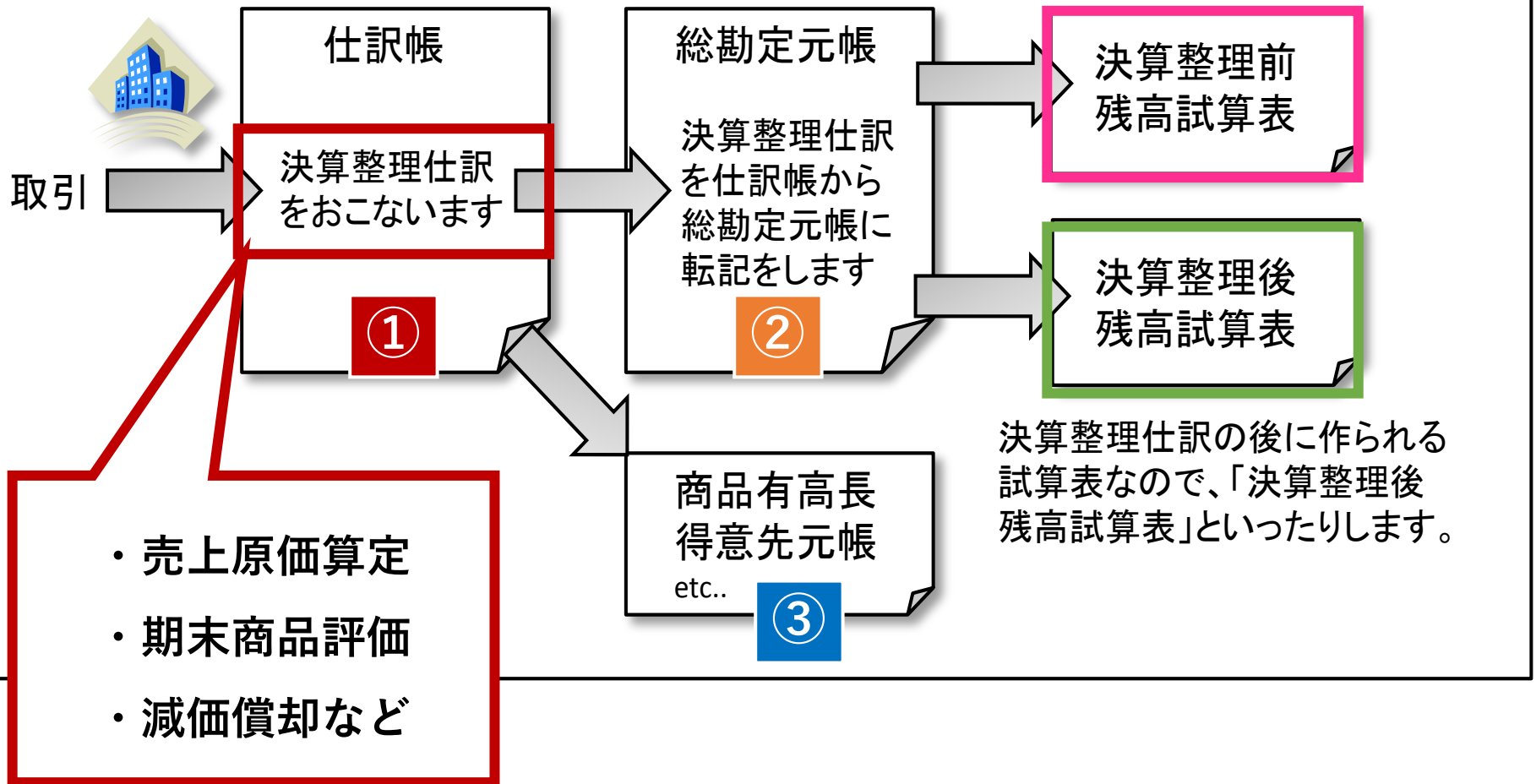
× 年 3月31日

借方	金額	貸方	金額
現金預金	38,000	買掛金	35,500
売掛金	90,000	貸倒引当金	1,500
繰越商品	35,000	本店	
仕入		売 上	
営業費			
	813,000		813,000

(資料2) 決算整理事項について

決算整理後残高試算表作成まで

(資料1) 決算整理前残高試算表



(資料2) 決算整理事項

③ 本店と支店それぞれの決算整理仕訳（P270・271）

論 点 2	本店と支店のそれぞれの決算整理（P270・271）			
仕訳例の金額 （設例18-1）	<本店の決算整理事項> (1) 期末商品棚卸高は次のとおり。 90,000円 (2) 売掛金の期末残高に対して、 5 %の貸倒引当金を差額補充法 により設定する。		<支店の決算整理事項> (1) 期末商品棚卸高は次のとおり。 66,000円 (2) 売掛金の期末残高に対して、 5 %の貸倒引当金を差額補充法 により設定する。	
	本店の仕訳		支店の仕訳	
	借 方	貸 方	借 方	貸 方
(1)売上原価の 算定				
(2)貸倒引当金の 設定				

	繰越商品	仕 入		繰越商品	仕 入
	T/B 80,000	T/B 500,000		T/B 35,000	T/B 550,000
	貸倒引当金繰入	貸倒引当金		貸倒引当金繰入	貸倒引当金
		T/B 4,000			T/B 1,500

④ 本店と支店のそれぞれの「決算整理後」残高試算表の作成



決算整理後残高試算表(一部記入済み)

× 年 3月31日

借方	金額	貸方	金額
現金預金	180,000	買掛金	176,000
売掛金	128,000	貸倒引当金	
繰越商品		資本金	200,000
支店	116,000	繰越利益剰余金	64,000
仕入		売上	720,000
営業費	160,000		
貸倒引当金繰入			
	1,166,400		1,166,400



本店の業績



決算整理後残高試算表(一部記入済み)

× 年 3月31日

借方	金額	貸方	金額
現金預金	38,000	買掛金	35,500
売掛金	90,000	貸倒引当金	
繰越商品		本店	116,000
仕入		売上	660,000
営業費	100,000		
貸倒引当金繰入			
	816,000		816,000

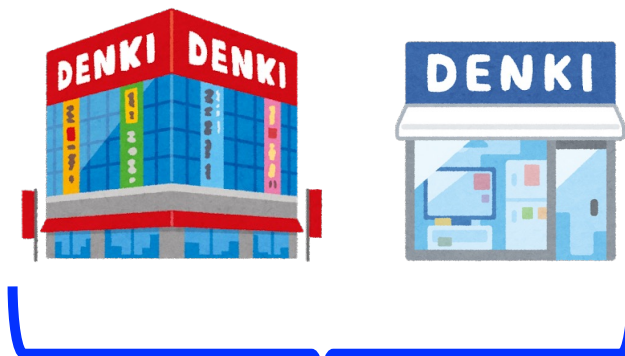


支店の業績



(2) 1つの会社としての財務諸表を作成する

本店と支店は1つの会社



1. 帳簿上の合算手続き（社内）

ここを確認します！

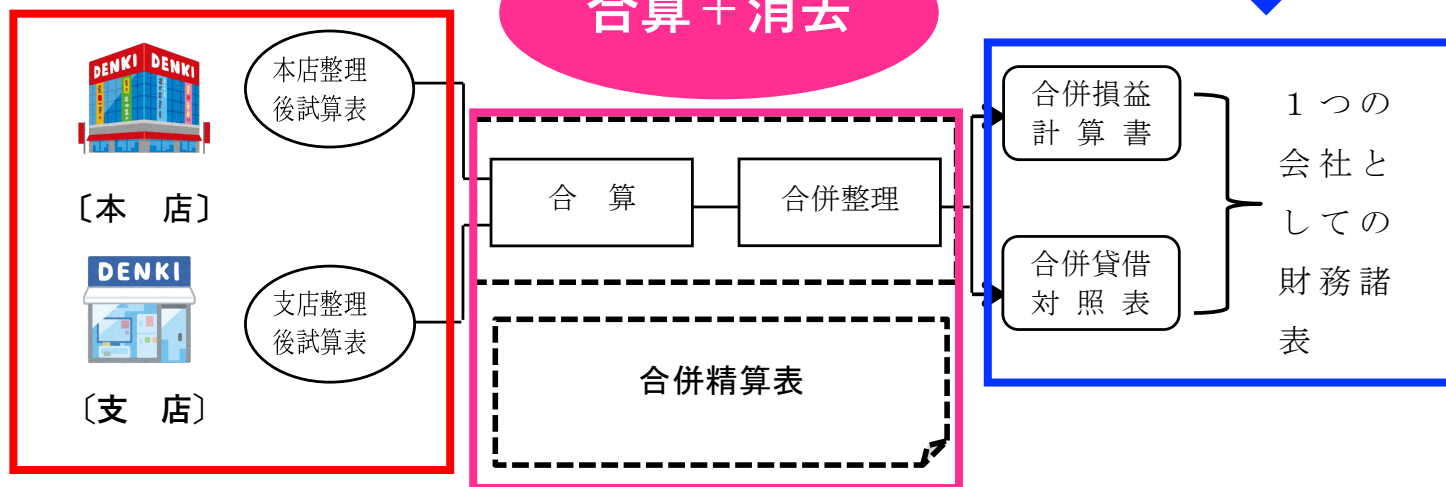
2. 精算表上の合算手続き（外部）

P275

2. 精算表上の合算手続きの流れ（P275）

< 合併精算表作成 >

決算
整理後



「（合併）精算表」という一枚の紙で合算する！

（本支店合併）精 算 表

勘定科目	本 店 試 算 表		支 店 試 算 表		合 併 整 理		合 併 損 益 計 算 書		合 併 貸 借 対 照 表	
	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方
現金預金	180,000		38,000							
売掛金	128,000		90,000							



本店と支店は1つの会社

(1) 支店勘定・本店勘定の相殺消去の仕訳 P275参照

帳簿上の決算整理で未達取引の処理が行われると、支店勘定と本店勘定は一致する。支店勘定は企業内部に対する投資または債権としての性格を有し、一方本店勘定は企業内部からの出資または債務としての性格を有する。これらの勘定は外部報告上まったく意味を持たないにもかかわらず、単純に合算しただけでは残ってしまう。このため、次に示すように合併精算表上の合併整理において相殺消去する必要がある。

(借)	本	店	×××	(貸)	支	店	×××
-----	---	---	-----	-----	---	---	-----

例) 本店および支店試算表の金額を基礎として、合併精算表上で外部報告用財務諸表の数値を算出する。この際、下記の合併精算表上に金額を記入しなさい。

**照合勘定が
残ったまま**

ここで消す！

勘定科目	本店試算		支店試算表		合併整理		合併損益計算書		合併貸借対照表	
	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方
支店への債権										
支店	37,500					37,500				
本店				37,500	37,500					

**照合勘定
消す処理**

支店への債務

(借)	本	店	37,500	(貸)	支	店	37,500
-----	---	---	--------	-----	---	---	--------

勘定科目	本 店 試 算 表		支 店 試 算 表		合 併 整 理		合併損益計算書		合併貸借対照表	
	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方
現金預金	180,000		38,000							
売掛金	128,000		90,000							
繰越商品	90,000		66,000							
支店	116,000									
仕入	490,000		519,000							
営業費	160,000		100,000							
貸倒引当金	2,400		3,000							
繰入金										
買掛金		176,000		35,500						
貸倒引当金		6,400		4,500						
資本金		200,000								
繰越利益剰余金		64,000								
売上		720,000		660,000						
本店				116,000						

色付きは「決算整理後」の金額が入ります。

【合併整理仕訳】→上記、精算表における照合勘定を消す処理

支店勘定・本店勘定の相殺消去

(借)	本	店	(貸)	支	店
-----	---	---	-----	---	---



本支店合併損益計算書

費 用	金 額	収 益	金 額
売 上 原 価		売 上 高	
営 業 費			
貸 倒 引 当 金 繰 入			
当 期 純 利 益			



本支店合併貸借対照表

資 産	金 額	負債・純資産	金 額
現 金 預 金		買 掛 金	
売 掛 金		資 本 金	
貸 倒 引 当 金		繰 越 利 益 剰 余 金	
商 品			

「設例18-4」の解き方



1つの会社としての
業績はどうだろう？



決算整理後残高試算表(一部記入済み)

合 算

決算整理後残高試算表(一部記入済み)

× 年 3月31日

× 年 3月31日

借方	金額	貸方	金額
現金預金	180,000	買掛金	176,000
売掛金	128,000	貸倒引当金	6,400
繰越商品	90,000	資本金	200,000
支店	116,000	繰越利益剰余金	64,000
仕入	490,000	売上	720,000
営業費	160,000		
貸倒引当金入	2,400		
	1,166,400		1,166,400

合 算

借方	金額	貸方	金額
現金預金	38,000	買掛金	35,500
売掛金	90,000	貸倒引当金	4,500
繰越商品	66,000	本店	116,000
仕入	519,000	売上	660,000
営業費	100,000		
貸倒引当金入	3,000		
	816,000		816,000

本店の業績



支店の業績





本支店合併損益計算書

費 用	金 額	収 益	金 額
売 上 原 価	1,090,000	売 上 高	1,380,000
営 業 費	260,000		
貸倒引当金繰入	5,400		
当 期 純 利 益	105,600		
	1,380,000		1,380,000



本支店合併貸借対照表

「照合勘定」は消去されてる

資 産	金 額	負債・純資産	金 額
現 金 預 金	218,000	買 掛 金	211,500
売 掛 金	218,000	資 本 金	200,000
貸 倒 引 当 金	△10,900	繰 越 利 益 剰 余 金	169,600
商 品	156,000		
	581,100		581,100

本支店会計の問題（設例18-1・4）について まとめのポイント

1. 資料1の決算整理前残高試算表にのっている「**支店勘定**」
「**本店勘定**」はどのような取引にときにきられる仕訳ですか？
2. 資料2の**決算整理仕訳**は、本店と支店でそれぞれ、
どんな仕訳がきられますか？
3. 本店と支店の業績を**1つの会社の業績**として出すには
どのような手続きがされますか？

